

医療法人稲生会 (所在地：北海道札幌市)

事業名

「障害の有無によらず、ともに学ぶ場づくり」の地域実装プロジェクト

事業の趣旨・目的

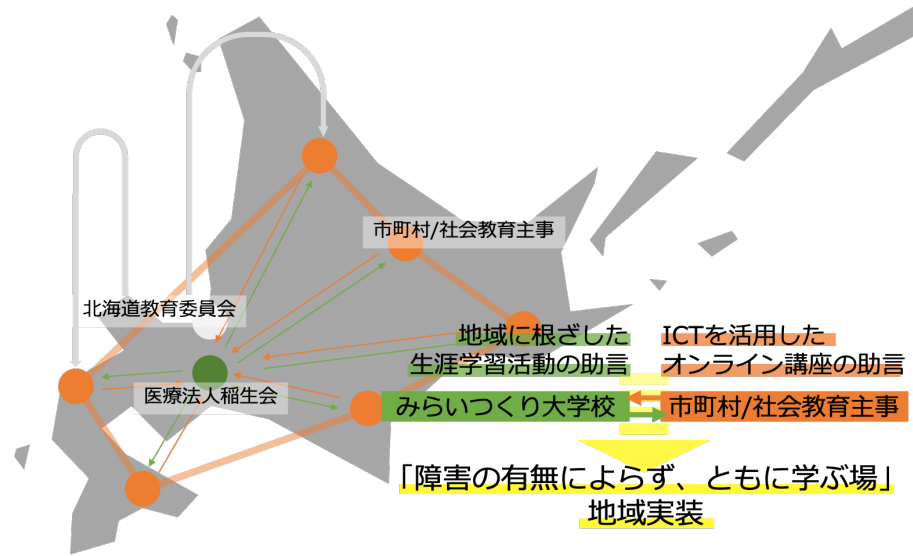
- ・ 障害の有無によらずともに学ぶ場づくりを目指して、2018年から開始した「みらいつくり大学校」の取組、特に2020年度から実施している複数のオンライン講座と集合型の活動を実践例として、市町村での「障害の有無によらずともに学ぶ場」づくりの実装に向けた具体的な方策について検討する。
- ・ 「障害者の生涯学習」を切り口に、北海道の市町村の地域課題を明らかにする。

事業実施体制・連携先

- ・ 北海道大学名誉教授(社会教育)、DPI北海道ブロック会議会員、市町村教育委員会(社会教育主事)が連携協議委員となる。(年度内にも、連携が可能な市町村が見つかった場合には、連携協議会への参加をお願いします。)コーディネーターは専任常勤1名。
- ・ 連携協議会では、みらいつくり大学校の取組に関する助言を求めるほか、地域実装に向けた課題の抽出を目指し、議論を行うこととする。

事業内容

- ・ **みらいつくり大学校によるオンライン講座の実施**
- ・ 哲学学校、読書会、映画同好会、ハワイアン、アイヌ語、手話、オタクの語り場、メタバースで語る場など、障害の有無によらず学習者の興味関心からスタートした活動を継続して実施する。年間10講座、全100回程度実施する。
- ・ **みらいつくり大学校による集合型の活動の実施**
- ・ 「バスツアー」「みらいつくり友の会(仮称)」を実施する。集合型の活動については、定期講座参加者の横断的な参画や、本事業外の学習の場との重なりを生むことを目的とする。「バスツアー」は年に1回(秋ごろ)実施する。「友の会」は隔月で集会し、すでに学びに加わっている人だけでなく、まだ学びたい内容や方法が定まっていない人も集まることのできる場作りを目指す。
- ・ **「障害者の生涯学習」を切り口とした北海道市町村の実態調査**
- ・ 本事業の主旨に沿うなら、障害者が、「住民」の一人としてすでにある実践にどのように位置付けられているのかがを明らかにすることが課題となる。上記の視点で地域の実態を調査する。また市町村の実態に即してみらいつくり大学校の活動の課題を協議し、地域に根ざした「障害の有無によらずともに学ぶ場」の創出の方法を検討する。



事業終了後の目指す方向性

- ・ みらいつくり大学校の取組について地域実装の視点から成果と課題を明らかにする。
- ・ 市町村の実態に即した実践の学習内容、方法について検討する。

その他

みらいつくり大学校の取組については、みらいつくり研究所ホームページにて随時公開中。
→みらいつくり研究所(<https://futurecreating.net>)